

令和 6 年 9 月 15 日現在

機関番号：47704

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2021～2023

課題番号：21H00872

研究課題名(和文) 小学校音楽科における教育番組・児童番組の利用に関する総合的研究

研究課題名(英文) A Comprehensive Study on the Use of Educational Television Programs in Elementary School Music Studies

研究代表者

佐藤 慶治 (Sato, Keiji)

鹿児島女子短期大学・児童教育学科・准教授

研究者番号：10811565

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,100,000円

研究成果の概要(和文)：NHKで音楽教育番組のチーフ・ディレクター等を務めていた故後藤田の資料について、分類を行った上でデータベース化を実施した。1955年以降にNHKで放送されてきた音楽科学校放送番組について個別の番組に関する調査研究を行い、これまで行われてこなかった教育音楽番組の整理と評価を行った。特に低学年に関しては、1955-2006までの全ての放送番組について分析することができた。「小学校音楽科における学習支援コンテンツの視聴・利用に関するアンケート調査」と題し、無作為に抽出した全国500校へのアンケートを実施し、NHK for school等の利用現状について調査することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では小学校音楽科と関連するNHKの教育番組・児童番組をテーマとし、関連資料のデータベース構築から個別の番組研究、現在のNHK for schoolについての学校教育における使用調査まで幅広い内容での調査・分析を行った。これまで特に音楽科学校放送における個別の各番組についての評価的な研究はあまり存在しておらず、コロナ禍の影響もあり、NHK for schoolを含めたデジタルコンテンツが現在の学校教育において大きな位置を占めるようになってきているため、本科研費研究における成果は今後、小学校音楽科についての映像コンテンツ研究を行う際の、基礎的な資料となることが期待される。

研究成果の概要(英文)：We have created a database of Ghotoda Sumio's materials after classifying them. Ghotoda served as chief director of music education programs at NHK. We conducted a survey and research of music educational TV programs for school education aired on NHK since 1955, and conducted an evaluation of each program. For the lower grade programs, all programs broadcast from 1955-2006 were analyzed. Under the title "Questionnaire Survey on Viewing and Use of Learning Support Contents in Elementary School Music Studies," a questionnaire was sent to 500 randomly selected schools nationwide to investigate the current status of NHK for school usage.

研究分野：音楽教育学

キーワード：学校放送 日本放送協会(NHK) 小学校音楽科 音楽教育史 身体表現 リトミック アーカイブス アンケート調査

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

2018年度から2021年度まで、科研費(若手研究)を取得し、NHKの教育音楽番組である「みんなのうた」についての調査研究を行った。特に、小学校の音楽教科書や副教材に多くの楽曲が掲載され、教育的な側面が強かった1960-70年代における同番組をテーマとし、関連性のある児童音楽文化との比較文化的な調査研究を実施している。研究を進める中で、「みんなのうた」初代チーフ・ディレクターであった故後藤田純生のご遺族にアクセスを行った。ご遺族自宅での資料調査を行うことによって、映像の失われている1960年代の「みんなのうた」放送楽曲に関する資料(映像写真、ロケ写真、台本等)等を発見し、これまでにアクセスされていなかった同番組最初期における一次的な資料を用いた分析を行うことによって、「みんなのうた」初期の番組形成と受容に関する知見を大きく促進することができた。後藤田は同じくNHKの音楽科学校放送番組である「ワンツー・どん」の制作にも関わっており、ご遺族自宅より発見された資料には、これらの番組に関する台本や楽譜資料、後藤田が書いた論考等も含まれている。

学校放送番組は、音楽以外の教科でも1950年代以降、特に小学校対象の番組が多く放送されてきた歴史があり、学習指導要領の変遷に従って、その教育内容に沿う形で番組が制作されてきた。2011年には、NHKの学校放送と「NHKデジタル教材」が「NHK for School」に統一され、現在、多くの小学校授業で利用される学習コンテンツとなっているが、NHK学校放送は現在の小学校教育につながる、重要な教育コンテンツの一つだったとみなすことができる。ただし、「みんなのうた」でも同様のことであったが、1980年代以前のNHKテレビ番組については、アーカイブ化されていないものが多くあるため、必ずしも個別の番組について教育学的な観点からの研究が進んでいない状況があった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、小学校音楽科と関連するNHKの教育番組について、学習指導要領との関連性の分析や、小学校授業での利用に関する調査を通じ、既存のテレビ放送番組についての調査研究を行い、更には今後の番組制作に関する提言等まで行うこととした。本研究においては、「みんなのうた」最初のチーフ・プロデューサーを務めた故後藤田純生氏の遺した資料のアーカイブ構築、NHKに残る既存の番組の評価と歴史研究、今後の学校教育における教育番組・児童番組の利用についての提言を三本の柱とし、研究を進めた。具体的な内容は以下の通りである。

後藤田の資料については、後藤田のご遺族より全ての資料の使用内諾を得ており、NHK内部文書等も含む、後藤田氏が担当した番組、すなわち「ワンツー・どん」や「みんなのうた」、「うたのえほん」や「セサミ・ストリート」等に関する資料等、ダンボール箱50個分以上になる資料のデータベース化を行う。更にこのデータベースをアーカイブスとして活用することによって、周辺領域の研究者との今後の共同研究についても新たな課題を複数、創出できる可能性があり、教育番組やメディア文化の研究における新たな展開が見込まれる。

既存の番組について個別的な調査研究を実施し、これまで行われてこなかった教育音楽番組の整理と評価を行うとともに、その文化資源としての価値についても改めて発信する。

音楽科に関連する教育番組、特に「学校放送」番組の小学校における利用状況について纏め、更にNHK放送文化研究所の協力も得ながら、小学校での番組利用や今後の番組制作に関する提言を行い、ポストコロナにおける番組制作や、文化資源としての番組利用に関する指針を示す。

小学校音楽科を対象とした戦後のテレビ「学校放送」番組の研究については、番組の評価や実際の学校での利用についての調査等、先行研究があまりない分野である。小学校音楽科対象のテレビ「学校放送」番組は、1955年から半世紀以上にわたって放送されてきた。これら「学校放送」については、それぞれの番組の放送当時における学習指導要領や小学校の教育状況、更には児童像も反映されているということが容易に推察でき、それが映像で表象されているということもあり、価値の高い日本音楽教育史の資料と言える。それらの番組が、実際の教育現場でどのように受容されてきたのかということの調査も含め、総合的に番組分析を行うことによって、今後の教育関連の番組制作や、学校現場における文化資源としての番組利用に関する指針になり得ることが期待される。

3. 研究の方法

本研究においては、前述の三本柱に基づき研究を進めた。以下、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を含めた形で、それぞれの詳細な内容と研究の流れについて記述する。

後藤田氏資料のデータベース化については、佐藤慶治(音楽教育史)と山田高誌(音楽学)を中心として、作業を行った。山田は、ナポリの銀行の金庫に眠っていた公証人史料を発掘し、現在、それをデータベース化して18世紀ナポリの民間劇場の全体像を分析する等、データベースとアーカイブスの構築についての専門知識を有している。初年度に山田の協力の下、後藤田氏資料の分類を実施し、その分類に基づく形で、非刊行物(NHK教育番組に関連する直筆の楽譜、台本、後藤田の原稿、NHK教育番組関連の文書等)のデータベース化を進めた。また高瀬文広(英語教育)は、後藤田資料の中に含まれていた英語文書について、翻訳を行った。

既存の番組の評価、歴史研究については、佐藤の他、山崎浩隆(音楽科教育)と城佳世(音楽

科教育)が中心となって進める。佐藤がこれまでに収集した映像資料や学校放送テキストの他、後藤田資料に含まれていた関連資料も使用し、小学校音楽科に関する「学校放送」番組の分析を行った。番組分析の視点においては、番組放送当時の学習指導要領における教育内容をどのような形で、どれだけ反映できているかということに主眼を置き、更には現代の学校教育におけるNHK 教育番組の使用についても分析を行った。中村礼香(リトミック教育)と金浦美咲(ダンス教育)は、それぞれの専門分野より、小学校音楽科において重要な要素であるリズム教育や身体表現が、番組においてどのような形で反映されているかを分析した。

今後の小学校音楽科教育における番組利用の提言については、小学校における実際の番組利用についての調査を行った。調査においては、現在、放送されているNHK「おんがくブラボー」「名曲アルバム+(プラス)」のみならず、文科省HPに掲載されている「小学校音楽科における学習支援コンテンツ」も対象とし、どのような形で、どれだけ使用されているのかについて、幅広い小学校教員への質問紙調査を実施した。

4. 研究成果

3年間の研究期間を通じ、毎年度、科研費メンバーが参加する研究会を実施した。各メンバーが研究報告を行うとともに、初年度と最終年度はNHK放送文化研究所主任研究員の宇治橋祐之氏、第2年度目は国立音楽大学音楽学部教授の津田正之氏を招聘しての講演会を開催した。宇治橋氏からはNHK学校放送番組に関する同研究所の取り組みや、教育番組・音楽番組の歴史に関する話題を提供いただき、また津田氏からは氏が監修を務めているNHK for Schoolの音楽番組「音楽ブラボー」および「名曲アルバム+(プラス)」についての制作背景をうかがうことができた。この取り組みによって、研究メンバー内で下記にも記す最新の研究成果情報を共有することができ、また翌年度の目標を共通のものとしている。以下については、「2. 研究の目的」で記した3本柱毎に各成果をまとめる。

初年度において、後藤田ご遺族の自宅から研究代表者の所属校に資料を移動し、同年度に資料の分類を行った。資料についてはまず他図書館等でも閲覧可能な刊行物を除外し、その上で「NHK番組関連の楽譜資料」、「NHK番組関連の台本資料」、「NHK番組関連の内部文書」、「後藤田の原稿」、「後藤田による企画資料」等に全資料を分類した。その後、分類毎にスキャンを進め、最終的には2900ファイル、73GBのデータベースが完成している。また、そのうち20本ほどの後藤田による学校放送関連の英語文書については、研究グループメンバーが翻訳を行い、併せてデータベースに収蔵している。このデータベースについては現在、代表者の研究室での保管という形になっているが、NHK放送文化研究所への寄贈に関する打ち合わせを進めている段階であり、2024年度中を目途に、同研究所への寄贈を実施したい。

NHK学校放送番組に関する個別研究については、佐藤、城、山崎、中村、金浦による合計9本の論文・研究ノートとして公開した。特に小学校低学年を対象とする学校放送番組については、「うたいましょう ききましよう」(1955-74)、「ワンツー・どん」(1974-96)、「うたって・ゴー」(1974-96)、「まちかどド・レ・ミ」(1996-2003)、「ドレミノテレビ」(2003-06)という1955年から2006年まで放送された全番組について扱うことができ、それらの番組の音楽的内容の表象における特徴等について分析することができた。

「小学校音楽科における学習支援コンテンツの視聴・利用に関するアンケート調査」と題し、無作為に抽出した全国500校へのアンケート調査を実施した。うち222校より有効な回答を得ている。11題を質問し、うち1~9番はNHK for schoolに関するものであり、音楽科授業での利用状況やその目的・理由などを調査する内容である(51.8%の学校で音楽科NHK for schoolの利用があった)。10,11番に関しては文科省のサイト「小学校音楽における学習支援コンテンツ」に紹介されているコンテンツの利用について調査し、NHK for schoolとの比較分析の指標としている。この調査から、音楽科と関連したNHK for schoolについては、視覚情報が必要な授業の際、サポートとして年に数回から時々頻度で使用する教員が多いことや、授業導入として使用する教員も一割以上存在することがわかった。また、NHK for schoolの使用がない場合、他のDVDや、もしくはYou Tube等、何らかの映像コンテンツを使用している教員が多い。これについては基本的には時間の都合や、行っている授業とマッチする映像がNHK for schoolには見つからなかった等の理由と考えられる。ただし、NHK for schoolの存在を知らなかった教員も4分の1以上存在するため、更なる周知も必要と考える。このアンケート結果および分析考察については、NHK放送文化研究所より宇治橋氏を招いた最終年度の研究会において報告を行った。内容については一定の成果が出たものの、有効回答数が統計学的有意に鑑みるとやや少ない等の問題もあるため、今後アンケート内容の改善も含め、補完的なアンケート実施も行い、より有意な調査を目指していきたい。論文等、紙媒体での公表については、その後に行う予定である。

以上、研究成果の概要をまとめた。本研究では小学校音楽科と関連するNHKの教育番組・児童番組をテーマとし、関連資料のデータベース構築から個別の番組研究、現在のNHK for schoolについての学校教育における使用調査まで幅広い内容での調査・分析を行った。コロナ禍の影響もあり、NHK for schoolを含めたデジタルコンテンツが現在の学校教育において大きな位置を占めるようになってきているが、今後、小学校音楽科についての映像コンテンツ研究を行う際の、基礎的な資料となることが期待される。また、学校における音楽文化資源としての番組利用に関する指針になり得る可能性もあるため、引き続き研究成果のアウトリーチに努めていきたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 中村 ますみ、佐藤 慶治	4. 巻 19
2. 論文標題 〔研究ノート〕ポピュラー音楽の語法を中心とした1980年代の『みんなのうた』に関する楽曲分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 63～70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15017/7167117	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤慶治	4. 巻 18
2. 論文標題 音楽科の学校放送における制作背景と実践内容：「ワンツー・どん」と「うたって・ゴー」にみる「遊び」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 音楽学習研究	6. 最初と最後の頁 19-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤慶治、金浦美咲、中村礼香	4. 巻 60
2. 論文標題 保育士・幼小教員養成校におけるICTを活用した音楽実践活動の試みーコロナ禍における現場との連携についての実践報告ー	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 鹿児島女子短期大学紀要	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤慶治	4. 巻 8
2. 論文標題 1959-73年における小学校低学年向けテレビ学校放送番組の分析：『教育音楽』を基にして	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 志学館大学教職センター紀要	6. 最初と最後の頁 27-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤慶治	4. 巻 60
2. 論文標題 音楽科教科書にみる保幼小連携および小中連携についての考察 - 教育芸術社の現行版教科書を対象として -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 鹿児島女子短期大学紀要	6. 最初と最後の頁 57-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田 高誌	4. 巻 15
2. 論文標題 研究ノート : 映画、テレビ、オペラをめぐる「芸能史料」の現在 : 元NHKプロデューサー・後藤田氏資料発見に寄せて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 78 ~ 84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/4776873	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村 礼香	4. 巻 15
2. 論文標題 研究ノート : 後藤田純生氏のわらべうた・遊びうたの研究から見る音楽教育観	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 101 ~ 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/4776881	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 城 佳世	4. 巻 15
2. 論文標題 学習指導要領と学校放送向け番組の相関関係	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 68 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/4776871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金浦 美咲	4. 巻 15
2. 論文標題 研究ノート：小学校低学年向け学校放送番組：うたって・ゴーにみる身体表現の分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 93～100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15017/4776877	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 慶治	4. 巻 15
2. 論文標題 研究ノート：学校放送「ワンツー・どん」にみる「遊び」：小学校音楽科学習指導要領との関連性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 85～92
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15017/4776875	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山崎 浩隆	4. 巻 15
2. 論文標題 研究ノート：音楽科学習における学校放送をその活用事例から考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 108～112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15017/4776882	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 慶治	4. 巻 20
2. 論文標題 1960年代における小学校中学年向け音楽科学校放送番組の変遷について：NHK「たのしい教室」「みんなの音楽」より	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 88～104
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15017/7183297	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村 礼香	4. 巻 20
2. 論文標題 リトミックの視点から見るドレミノテレビ	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 73～80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/7183293	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金浦 美咲	4. 巻 20
2. 論文標題 学校放送番組まちかど・レ・ミにみる幼稚園教育要領領域「健康」との関連について	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 総合文化学論輯	6. 最初と最後の頁 81～87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/7183295	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 佐藤慶治
2. 発表標題 NHK「ワンツー・どん」「うたって・ゴー」における放送背景と教育的役割
3. 学会等名 日本音楽教育学会第53回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤慶治
2. 発表標題 音楽科を対象とした学校放送における教育的役割の研究－1974-96年の「ワンツー・どん」を事例として－
3. 学会等名 日本音楽教育学会第52回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤慶治
2. 発表標題 戦前・戦後を通じた日本児童音楽の歌詞形成
3. 学会等名 2022年度台湾日本語学会 国際學術シンポジウム SDGsに向けた日本語文学研究の展望 (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	城 佳世 (Jo Kayo) (40722731)	九州女子大学・人間科学部・准教授 (37103)	
研究分担者	山崎 浩隆 (Yamasaki Hirotaka) (20555768)	熊本大学・大学院教育学研究科・教授 (17401)	
研究分担者	山田 高誌 (Yamada Takashi) (10580665)	熊本大学・大学院人文社会科学部(文)・准教授 (17401)	
研究分担者	金浦 美咲 (Kanaura Misaki) (00884876)	鹿児島女子短期大学・児童教育学科・助教 (47704)	
研究分担者	中村 礼香 (Nakamura Ayaka) (60898732)	鹿児島女子短期大学・児童教育学科・准教授 (47704)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	森 みゆき (Mori Miyuki) (00738552)	尚絅大学短期大学部・その他部局等・准教授 (47407)	
研究分担者	高瀬 文広 (Takase Fumihiro) (90413640)	日本赤十字九州国際看護大学・看護学部・教授 (37123)	
研究分担者	津田 正之 (Tsuda Masayuki) (10315450)	国立音楽大学・音楽学部・教授 (32611)	2023年度のための加入。

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関